

あい きょう しげ ゆき

愛敬重之 後援会 だより

2021
1月20日
No. 39 64

発行責任者 後援会会長
伊藤久志

愛敬重之
公式HP



http://www.aikyo-kuwana.net/



日頃の議員活動ではご協力ありがとうございます。今なお猛威を振るい続けている新型コロナウイルスは、感染の第三波の到来とも言われておりますように、全国での感染者も急増しており、感染に対する恐怖、生活に対する不安はますます増大しているところです。

桑名市では、感染症に対応するため『感染症拡大防止対策』と、地域経済・市民生活に対応するための『経済対策』『生活支援』の3本柱に加え、『人権対策』にもしっかりと取り組む今回の補正予算となりました。皆さんも移動の際は『新しい生活様式』や『新しい旅のエチケット』を実践いただくとともに、特に『感染リスクが高まる「5つの場面」』においては感染防止対策の徹底をお願いいたします。今回の後援

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が麻痺し、大きな声になりやすい。
- 特に居酒屋などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご家では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマスク口飛沫感染の感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中にも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



会だよりでも主要な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の補正予算と、議員活動報告をさせていただきます。2021年は副議長に就任させていただきました。丑年もよろしくをお願いいたします。

第4回市議会定例会での主要な感染症拡大防止対策予算可決！

民生費：政府で閣議決定された方針に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯を支援するため、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等への臨時特別給付金（基本給付）の再支給およびそれに係る事務費を予算計上する。（・1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円支給）
対象児童（見込み）1,499人（財源：国庫支出金 6,540.3万円）

衛生費：新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行に備え、高齢者のインフルエンザ予防接種における自己負担額について、2020年10月1日からを対象期間として無料化する。
（財源：新型コロナウイルス感染症緊急対策基金 6,771.4万円）
新型コロナウイルスワクチンを、市民の皆さんに可能な限り速やかに接種する体制整備として、現時点で想定することのできる接種台帳整備および接種券の発行・郵送に係る費用を計上する。
（財源：国庫支出金 令和2年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 3,042.7万円）

- 市の役割
- ① 人的体制の整備
 - ② 予防接種台帳システム等のシステム改修
 - ③ 印刷・郵送準備
 - ④ 接種の実施体制の確保
 - ⑤ 相談体制の確保



新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱【厚生労働省】より

補正予算額	3,042.7万円	② 予防接種台帳システム改修費	253.0万円
		③ 接種券印刷等準備費	1,286.4万円
		印字・封入封緘作業費	602.4万円
		受診券郵送費	900.9万円

市の主な業務 スケジュール(予定)



ワクチン接種に関する相談の対応、予約の受付、接種データの入力等を行うコールセンターの設置に係る費用を計上する。

(財源：国庫支出金 令和2年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費4,583.7万円)

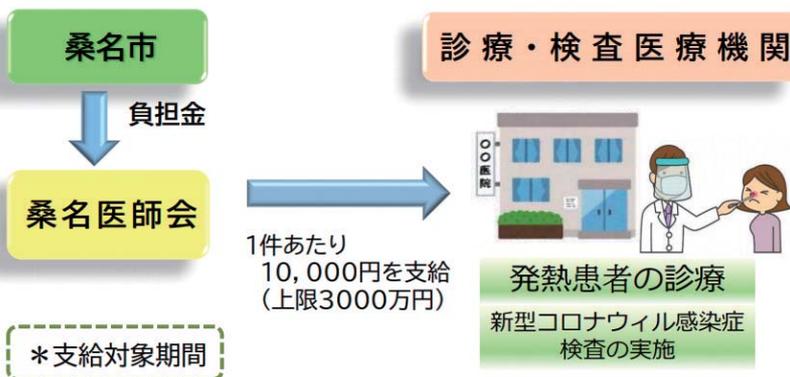
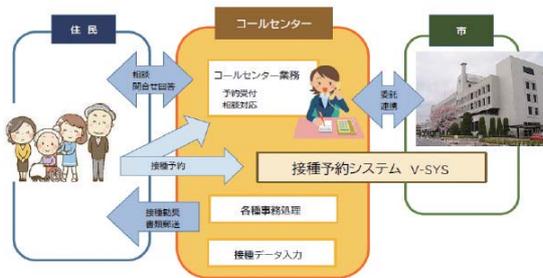
(関連組織変更)

ワクチン接種をスムーズにするため『**コロナワクチン接種課**』を新設。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための移動抑制や人と人との接触機会を低減させる取り組みとして、行政のあらゆる場面において、オンライン化やICT環境の整備等を推進するため、『**デジタル推進課**』を創設。

市内医療機関における新型コロナウイルス感染者および感染の恐れのある方に対する受診体制を拡充するため、県の診療・検査医療機関の指定を受け、発熱患者に適切な診療および新型コロナウイルスの検査を実施した市内医療機関に対し、桑名医師会を通じて1件あたり1万円を支給する費用を計上する。

(財源：新型コロナウイルス感染症緊急対策基金 3,065万円)



令和2年11月1日から令和3年3月31日まで

農林水産業費：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新たな販路開拓や付加価値向上に取り組む沿海漁協同組合に対して、県補助事業との協調補助を行い支援する。

(財源：新型コロナウイルス感染症緊急対策基金 1,000万円)

最近の活動報告を掲載します

三重県管理の大山田川ですが、自然災害対策での護岸工事を視察しました。その際、工業者の皆さんとお話の中で反対側の護岸の危険性を訴えられました。私も現地を視察して驚きました。河川部分まで除草作業がされていなかったため、県も亀裂部分がわからなかったと思われます。早速、新政策議員フォーラムに同じく所属しています桑員地区出身の県議会議員の方に情報を提供できました。現地を見て、応急補修をしていただき本改修の計画を策定してもらうことになりました。市民の安全・安心を守る重要なことだと思いました。工業者の皆さん情報を提供していただきありがとうございました。



←今回視察をした護岸工事写真です。作業中でも護岸砂がさらさらで崩れ落ちてきたとのことでした。



←視察中工業者が亀裂を発見した護岸です。亀裂した部分の護岸ですがよく見ると下がっているのが分かります。川の流れも護岸に当たらないように工事しました。以上